



TCA

— NEWS —

Vol.103 10月号

発行
富山市民国際交流協会
〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号
CiCビル3F富山市国際交流センター内
TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643
発行責任者 広報・組織強化委員会



中国 秦皇島市

富山市
オンライン交流
8月5日(金)*協会も参加



日中国交正常化50周年を記念して実施された富山市の友好都市、中国秦皇島市とのオンライン交流に参加しました。

国際交流フェスティバルウィーク in Toyama 2022

講演会、世界の国々の紹介、国際交流・協力団体の紹介を行うなど多彩な内容となっています。

開催日 フェスティバル/11月13日(日) 11:00~16:00
ウィーク/11月14日(月)、16日(水)、17日(木)、18日(金)

会場 CiCビル(1F・3F)

内容 講演、各国紹介ブース、国際交流・協力団体による活動紹介、国際理解講座、ワークショップ 等

共催 公益財団法人 とやま国際センター
富山市民国際交流協会
独立行政法人 国際協力機構北陸センター(JICA北陸)

※詳細はホームページ参照



11月13日(日) 11:00~12:00
「外国人が求めるおもてなし
~アフターコロナ版~」
講師 タイラー・リンチさん
長野県 戸倉上山田温泉
旅館「亀清」宿主

密を回避するために、従来の一般参加は取りやめ会員代表に集まっていただきました。
議事では、令和3年度の事業報告、収支決算・監査報告、令和4年度事業計画案・収支予算案、任期満了に伴う役員
の選任案がそれぞれ原案通り議決されました。

第28回北陸都市国際交流連絡会総会・研修会

7月1日(金)オンライン(福井市主催)

オンラインによる開催で、多くの会員市や団体からの参加がありました。
研修会では「北陸各地の取り組みについて事例から学ぶ」というトピックで、事例発表と意見交換を行いました。事例発表について
は、「子どもの教育」、「コロナ禍で工夫して実施している事業」、「外国人が地域とつながるために実施している事業」の3つのテーマ
で活動を紹介しました。遠い地域のことでなく身近な地域において、工夫を凝らして活動されている事業の発表はとても参考に
なりました。来年は富山で開催いたします。

多文化共生事業

外国語ボランティア養成講座前期

第1回「越中八尾曳山祭り・越中おわら」 5月28日(土) 参加者44名

第1部 講演講師 (一社)越中八尾観光協会 企画営業 谷井 里美 さん

八尾の魅力その1 - おわら風の盆

風害を抑え豊かな農作物の収穫への願いを込めたこの祭りは、毎年9月1日～3日にかけて行われる。石畳と雪洞
(ぼんぼり)で幽玄な雰囲気の中、編み笠姿の若い男女が、ベテランの町内衆の奏でる哀愁をおびた三味線と胡弓の
演奏、そして高音の節回しの歌声に合わせて3種類の踊りを町流して披露する。豊年踊りは男女共通、男踊りは農作
業の所作を取り入れてきびきびと男らしく、女踊りは四季踊りとも言い、女性が河原でホテル取りに興じる女らしい
所作が特徴である。

八尾の魅力その2 - 曳山祭

八尾商人の繁栄を目の当たりにできる300年近い歴史の神事。養蚕と和紙という2つの産業が栄えた八尾の6つ
の町が隆盛を競うように豪華な曳山を創り上げ、毎年5月3日の例祭に町を引き回す。お囃子衆の乗る下層とご神体
の人形が祀られた上層に分けられた曳山は彫金、彫刻、蒔絵、金箔などで飾られ、漆や彫金を施された車輪だけで何
千万円もするという豪華さを誇る。高さ7.5m、重さ4tの曳山が坂の多い狭い通りを駆け抜け、角を曲がるときの
車輪のきしむ音が見ている者の興奮を掻き立てる。厄除けの獅子舞と神輿が先導するのも見どころの一つである。夜
はその装飾品が全て取り外され、400個もの提灯でお色直しがされる。

第2部 語学研修 英語、中国語、韓国語のグループに分かれ、曳山やおわらについて説明する際に必要な
語彙や表現を練習をしました。

第2回「鉄軌道王国とやま」 6月11日(土) 参加者40名

第1部 講演講師 富山県交通戦略企画課 地域交通係 主任 毛利 聡 さん

富山県には12路線の多種多様な鉄軌道があり、県ではこれらの鉄軌道を「鉄軌道王国とやま」と銘打ち観光資源と
して情報発信している。富山地方鉄道市内軌道線は、富山駅で南北に分断されていた路線が2年前につながった。レト
口電車を始め、種類の豊さも相まって人気が高まり、同時に利便性もあがっている。豊かな種類の車両といえば鉄道線
も大根電車やカボチャ電車で知られる車両の他に、大都市圏で活躍した大手私鉄の有名車両がダブルデッカーエキス
プレスやアルプスエキスプレスなどの展望列車として生まれ変わり、人気を博している。

高岡にもアイトラムの名称で知られている軌道線があり、中でもドラえもん電車は海外の旅行者にも人気がある。
2015年の新幹線開業に伴ってJR西日本から分離された「あいの風とやま鉄道」には、自転車積み込める列車や
富山の自然・食・文化が色彩豊かにデザインされた装飾が特徴の観光列車、県内を縦横に走って寿司や懐石料理が楽
しめる列車がある。

さらに、JR西日本の支線である氷見線と城端線にも観光列車が走っており、寿司職人が乗車して寿司を握ってくれ
たり、井波彫刻の作品を鑑賞できたりもする。

この他、黒部峡谷鉄道(トロッコ)や立山黒部アルペンルート(ケーブルカー)の観光地において鉄軌道が活躍している。

第2部 語学研修 英語、中国語、韓国語のグループに分かれ、多様な鉄軌道の中から観光列車等いくつか
取り上げて、説明する際に必要な語彙や表現を練習をしました。

第3回 「岩瀬まち歩きのポイントとガイドのコツ」 7月9日(土) 参加者43名
第1部 講演講師 とやま観光塾 上級認定ガイド 岩瀬まち歩きガイド 魚谷 日出子 さん

1 東岩瀬の歴史と北前船ミニ知識

東岩瀬村は1662年に加賀藩の主往還道(参勤交代ルート)の宿駅指定を受けました。また、富山県の中央部に位置し富山湾に面しており飛騨から流れ下る神通川により、物資の集散地として発展し、港町・宿駅として発達しました。発酵させると安くて上質の米の肥料となるニシンの粕を松前から移入したことにより、1789年~1800年頃には東岩瀬の北前船交易はさらに活発に行われるようになりました。このニシンの粕は仕入れ値の5倍、時には10倍でも売れたそうです。東岩瀬の北前船の最大の儲けだったと言えます。また北前船で売薬商人が薩摩藩へ昆布を持ち込んだことで、清国から琉球・薩摩を経て生薬の原料を手に入れることができました。そこから越中富山は、「薬都」としての礎を築きました。北前船は明治初期に最盛期を迎えましたが、その後明治末期には汽船や鉄道に押され、活躍の場も減少していきます。船主たちの中には、北洋への遠洋漁業に転身した者も多く、岩瀬五大家の馬場家や米田家もそうですが、銀行や近代産業などの他業種に参入する船主もいました。

2 岩瀬まち歩きのポイント ※抜粋

- ・富山港線は1924年(大正13年)富岩鉄道として開通した。旧制富山高等学校開校のため、地元の人が敷設した鉄道です。
 - ・岩瀬名物「飛だんご」は江戸時代からの庶民の味で、元祖「はぎのや」の包装紙は大正口マン画家、詩人竹久夢二の作品です。飛だんごを絶賛した大隈重信の勤めで東京で販売するために作られたそうです。
 - ・廻船問屋街(旧北国街道・往還道)は江戸時代に加賀藩主、大聖寺藩主が参勤交代の時、通った道です。
 - ・旧馬場家住宅(日本遺産)
3代当主道久の妻はるは、旧制富山高等学校設立のために多額の寄付をした人物として知られています。「ヘルン文庫」は開校記念の寄贈。はるは富山市名誉市民第1号です。
- 最後に、ガイドのコツとして、おもてなしの心をお話いただきました。
①心に寄り添うこと ②喜び合えること ③感動を共有すること ④自己研鑽を積むこと

第2部 語学研修 英語、中国語、韓国語のグループに分かれ、馬場家を説明する際に必要な語彙や表現を練習をしました。

実地研修 「岩瀬まち歩きと馬場家見学」 8月27日(土) 参加者42名

雨模様も心配される中、カナル会館の駐車場に集まって岩瀬家へと向かった。途中目に入ってくる事物を一生懸命それぞれの外国語で説明しようとする日本人参加者の姿が見られた。馬場家では、まず全員で学芸員の方の説明をメモを取りながら聞き、その後、各グループ毎に屋敷の中を回りながら、外国の方たちに、メモに基づいて順番に説明をしていった。学芸員の方が時間をかけて微に入り細に入り説明をされたので学ぶことが沢山あったというのが参加者の多くから聞かれた感想であった。

森家と似たところもありながら、相違点も相当あって大変興味深かった。部屋の造りや調度品、装飾など質素を心掛けながらも大変質の高いものが随所に見られ、さすが岩瀬5大家の筆頭だと感じ入った。富山の産業の発展のためにこれらの家々が果たした役割は我々が思う以上に大きなものだったのだということを実感した。



MPBで学ぶポルトガル語講座 講師：白川 セリナ サナエ (ポルトガル語相談員)

♪ 4月11日(月) ブラジルのCMソングを歌ってみよう!

目に映るのは、チーズがとろけるおいしそうなピザの映像。CMソング(ポルトガル語ではjingle)は、モツアレツラ、カラプレーザ、ロマーナetc.とピザの種類を連呼する。しかし、これはguaranáのCMなのだ。別のCMは、延々とポップコーンが弾けて踊るのを見せつける。歌もまるでポップコーン讃歌なのだが、実は主役はguaraná。どちらも最後に、guaranáとピザ/ポップコーンは相性抜群!というオチ。Guaranáはブラジル人が愛してやまない清涼飲料で、コーラよりも人気がある。日本でも買える。カタカナで「ガラナ」と表記されるが、「グアラナー」が原語の発音により近い。

♪ 5月9日(月) ブラジルの黒豆は日本の黒豆に非ず

元ウエイトレスたちのボーカルグループAs Frenéticas(アス・フレネチカス)が歌うO Preto Que Satisfaz(Feijão Maravilha)(満たしてくれる黒いもの=素敵なお豆)という曲を学んだ。「十人中十人が豆を好む」と歌うほど、豆はブラジルの食卓に欠かせない。白いの、赤いの、黒いの、とインゲン豆の種類が豊富だ。塩味で煮て、ご飯やパスタにかけたり、パンやマンジョカ粉(キャッサバ粉)と共に、または単独で食べ、ほぼ主食の扱い。特別な時は黒い豆を食べ、そこに肉が入れば、さらに嬉しい一皿となる。この黒豆にアフリカ系の人々を重ね合わせて賛美する歌なのだ。

♪ 6月13日(月) ひじの痛みに耐えかねて…?

ブラジルのポルトガル語で、ひじの痛みはdor no cotoveloだが、前置詞を変えて、dor de cotoveloと言うと、それは失恋の痛みという意味になるそうだ。日本語で「ひじ」のつく慣用句といえば、「ひじ鉄砲」か。ひじ鉄はくらった方が痛いのであって、くらわせたひじは痛まない。ところで、あなたは耳穴の掃除が好きですか?耳掃除のし過ぎはよくないそうですよ。現にどこかの国では、「ひじより小さなものは耳に入れてはいけない」と言うのだとか。実質、耳には何も入れるなということ。そこまで言う、バナナを耳に突っ込んでいる人のジョークを思い出す。脱線した。Alcione(アウシオーネ)のSufoco(板ばさみ)はdor de cotovelo、つまり失恋の歌だ。

♪ 7月11日(月) 狙いはソレだった!?

先月からサンバの有名曲を歌っている。先生の目標は、受講者がパーカッション楽器を奏でながら歌えるようになることらしい。Ganzá(ガンザ)という楽器を貸していただいた。別名egg shakerと言って、プラスチックの卵の中に仁丹様の金属粒がたくさん入っており、手に持って振るとシャカシャカ鳴るのだが、キレよくチキチキと鳴らすのは難しい。足でリズムを取りながら鳴らすよう指導されるが、ポルトガル語の歌唱も併せて、いくつものことを同時に行うのは簡単ではない。そうか!先生の真の狙いは私たちのボケ防止だったのだ(笑)(泣)

委員会報告

姉妹友好都市

秦皇島市オンライン交流 8月5日(金)

富山市の友好都市である秦皇島市から富山市文化国際課に、日中国交正常化50周年を記念して、オンラインを利用した「バーチャル相互訪問」の提案がありました。

①両市の国際交流の状況 ②当協会の活動について ③新型コロナウイルス感染対策といった内容を、通訳を交えながら紹介しました。

秦皇島市は担当部署が統合され、従来の交流に加えて今後は、大学間の学術交流や経済的交流にも力を入れていきたいとのことでした。また、対外友好協会も設立されたそうです。

新型コロナウイルス対策は、国の政策に従い、秦皇島市における感染者はこの3年で12人だそうです。にわかには信じがたい数字ですが、中国の徹底的な感染抑え込み政策、ゼロコロナ政策に基づく厳しい制限措置を痛感しました。

同席した姉妹友好都市委員や過去の訪問団のメンバーは、秦皇島市の皆さんとの再会に当時の思い出が懐かしく蘇ったのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスの影響から簡単には行き来できない昨今ですが、対面とは一味違ったオンライン交流に新鮮味を感じ、新たな可能性を見出せました。

秦皇島市とのオンライン交流について 姉妹友好都市委員長 中川泰三

秦皇島市から7名が参加し、その内富山市を訪問した方は王貴君副局長、劉文閣副局長、楊柳外事商務局員、張曉鐘外事商務局員、董紅媛通訳、一方富山は、市からの4名を含め16名が参加し、和気あいあいに交流を行った。

最初に、秦皇島市から経済活動を発展させるため、外事弁公室を外事及び商務局に組織替えを行ったことから、民間交流だけではなく経済交流を推進したいとの要望があった。さらには、文化交流や医療衛生分野での交流を進めたいとの話もあった。

現在、秦皇島市の新型コロナ感染症は12名で、死亡は1名とのこと、国外からの入国は7日間隔離後さらに3日間の状況を観察してからと、国は厳しく規制している。

一方、現在外国との交流については、米国のトレド市、日本では苫小牧市、宮津市と行っている。

今後、両市がますます友好交流を続けていくことを約してオンライン交流が終了した。

文化交流

折り紙・七夕短冊作り 6月26日(日)

七夕が近いことにちなみ、折り紙体験会を行いました。先生の丁寧なご指導のもと、初めに新聞紙で兜を作りました。外国からの参加者にとっては、サプライズだったようです。

その後は鶴や富士山、舟を折りました。久しぶりに参加して下さった会員もおられ、近況を語り合ったり、お互いの作品を写真に収めたりと楽しい会となりました。最後に、短冊に願い事をしたため、折り紙とともに七夕の笹に飾り付けをしました。



ボランティア

とやま巡り 立山室堂平 7月24日(日) 参加者 外国人10名 日本人14名

立山室堂平散策に参加して 中川伊津子

立山は素晴らしいと何度来ても思う。

この日は天気に恵まれ、夏の室堂は、山肌の緑や残雪の白に加えて、池には青空と山の稜線を鏡のようにくっきり映しだして、立山の優美さを反響させていた。私はこの風景にいつも魅了されるのだが、今回は少し違った見方ができた。ナチュラルリスト同行のもと、道端に咲いている様々な高山植物の説明を受け、厳しい環境の中ながらも、健気で愛らしい表情を彩る花々を見つめ、雄大さの中に垣間見えるいとおしい部分も発見でき、上り下りの遊歩道では、疲れも時間も忘れて楽しく散策できた。

残念ながら、雷鳥にはお目にかかれず次回にお預けだが、眼に入る遠くの山々の雄大な風景しか見ていなかった私には、目の前の足元にも自然の偉大さを感じさせられた一日だった。

別な視点から見た立山の魅力を知ることができ、感謝でした。

とやま巡り・立山室堂平参加して 光永勝芳

この度、ボランティア委員会主催の立山室堂平散策に参加させていただきました。7月になり、再び梅雨が戻ったような天気が続きましたが、当日は晴天となり最高の室堂散策日和となりました。

室堂では3つの班に分かれ、室堂平を約3時間散策しました。高山植物や石仏等、ナチュラルリストの方にご説明いただきながらゆっくり散策し、大変貴重な時間を過ごすことができました。

立山は富士山・白山と共に日本の三霊山の一つと言われます。富山に住んでいても、普段行く機会は多くありませんが、このようなバスツアーで立山に行く機会をいただくことができ、関係者の方々には感謝申し上げます。

◇ 4月2日 (土) チェコ & チェコ語 (ハイブリッド) 講師 Mr. Jára Šára

プラハは1000年以上の歴史があり、さまざまな建築様式がみられます。プラハ城は街全体を見渡せる丘の上にあり、現在も大統領府として使われています。

気候は北海道に似ていて、自然が豊かで四季があります。夏には人々はバーベキューを楽しみます。秋は美しい季節であり、セントラルヒーティングを使い始める時期でもあります。森には多様な種類のきのこがあり、きのこ狩りも盛んです。トレッキングも盛んで、緑赤黄色の標識に沿って進めば迷うことはないそうです。

チェコといえばガラス産業が有名です。1000年以上の歴史があり、砂やブナの木、地元で取れる良質なライムストーン(石灰岩)を使います。イタリアのガラスと材料が違い、特質としては非常に固いので、彫刻やエングレービング※に向いています。「キラリ」には、チェコのガラス作品の所蔵があります。著名人としては、「ロボット」という言葉を作った作家、カレル・チャペック、音楽家としてドボルザークが有名で、『新世界より』の「家路」(「遠き山に日は落ちて」)は日本でもよく聞かれています。

チェコはEUに加盟していますが、通貨はユーロを使用せず、チェコクラウンを使用し、紙幣は質もデザインも良いものになっています。火事の対策として池が多く作られ、池には鯉がみられます。鯉はクリスマスの特別な料理です。クリスマスの料理というとポテトサラダは定番の一つで、鯉と一緒に食べます。家族毎にレシピがあり、大量に作って1週間食べ続けるそうです。

チェコでは、一人当たりのビール消費量がたいへん多く、年間一人200リットル消費すると言われています。

国内で鉄道網が発達していて、ほとんどの町と繋がっているため、旅行者に便利です。公共交通機関は、乗り心地もよく値段も手ごろです。観光地も多く、安全なので、ぜひチェコに遊びに来てください。

※ガラスエングレービング(glass engraving)とは、ガラス工芸技のひとつで、リユーター等の電動工具を使いガラスに絵や模様を彫る。



◇ 6月4日 (土) イタリア トスカーナ州 & イタリア語 講師 Mr. Tropea Simone

トスカーナ州は、イタリア中部に位置し、フィレンツェ、ピサ、シエナなど、観光地が数多くあり、ワインも有名です。

トスカーナ生まれの著名人は、レオナルド・ダ・ヴィンチやイタリア最大の詩人で代表作として「神曲」「新生」があるダンテ・アリギエーリ、天文学・物理学者のガリレオ・ガリレイです。「ピノッキオの冒険」はフィレンツェ出身の作家、カルロ・コッローディの作品です。

日本であまりなじみのない観光地をいろいろ説明していただきました。

①私の出身地であるピサ県ポンテデーラには、ベスパ(スクーター)の製造で有名なピアッジオ社の博物館「ムゼオ・ピアッジオ」があります。オードリー・ヘップバーンとグレゴリー・ペックの「ローマの休日」で、ピアッジオ社のベスパに乗るシーンがあり、世界的に有名になりました。②「モンテリッジョーニ」は、シエナ県にある中世の王冠のような城塞都市です。丘の上にあつて、街を囲む城壁は今も残っています。ダンテ・アリギエーリが「神曲・地獄編」に城塞の名を書いています。③「水没した町ファブリーチェ・ディ・カレッジ」はルッカ県にあるヴァグリ湖の湖底に沈む村です。1947年に水力発電ダムの建設により盆地が水で満たされ湖となり、村は完全に水没。村民は近くの町バーリソットに移住しました。湖はダムが建設されて以降、メンテナンスの際(10年から20年毎)に排水を実施。村は長年にわたり湖底に沈んでいたにもかかわらず、建物の保存状態はたいへん良好で、前回には多くの人々が訪れたそうです。

他にも、ルッカ県とその巨大な城壁(市街地)、ピティリアーノ(小さなエルサレム)、美しい塔が立ち並び「中世のマンハッタン」と呼ばれている「サンジミニャーノ」等の紹介がありました。



◇ 7月2日 (土) 米国ニューヨーク州 講師 Ms. Jayme Price

「ニューヨーク」と聞いてみなさんが想像するのは、観光地や高層ビルです。

ニューヨーク州の人口は、2020年時点で約1951万人、そのうちのほぼ半分(838万人)がニューヨーク市に住んでいます。また、ぶどうの生産量も3番目に多い州、2番目に大きなワイン生産州でもあるのです。

私はキャピタルディストリクトの北、アディロンダック山脈に住んでいます。ニューヨーク州の州都は、ニューヨーク市ではなくオールバニです。ニューヨーク州北部は、美しい景色や山々、湖、家族で楽しめる場所、お祭り、素晴らしいイベントがあり魅力いっぱいです。

秋は山歩きが一番楽しい季節で、紅葉を楽しむことができ、ニューヨークやニュージャージーから多くの人々が紅葉を見にやってきます。秋になると、リンゴ園が私のお気に入りの場所になります。りんご狩りは、家族や友人とする楽しいアクティビティです。

夏には、湖で泳いだり(人工ビーチもあります!)、蒸気船に乗ったり、水上の豪華なリゾートに泊まったりすることができます。

もう一つの夏の楽しみは、カウティ・フェアです。8月の終わりには、動物たちとふれあったり、ファンネルケーキ※や綿菓子などのお祭り料理を食べたりして楽しむことができます。乗り物やショーもたくさんあります。ぬいぐるみや金魚などの賞品が当たるゲームもあります。

※ファンネルケーキ・・・ファンネルとは漏斗(ろうと)の意味です。アメリカやカナダでお祭りの時に、屋台で販売されるケーキで、ドーナツを作るときと同じような生地を漏斗(ろうと)に入れて線を重ねて作ります。

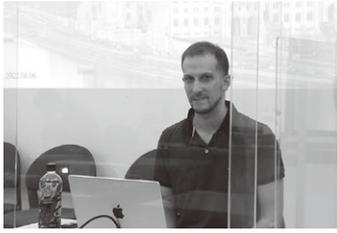


◆ 8月6日(土) ハンガリー&ハンガリー語 講師 Mr. Balázs Nagy

ハンガリーはヨーロッパの中央に位置し、1999年にNATOに加盟しました。中央ヨーロッパで一番大きな巴拉トン湖(600km²/琵琶湖670km²)があり、人気の保養地となっています。また温泉が1500以上あり、世界で一番多いです。石油やガスのエネルギーはロシアに90%依存して、現在大きな課題となっています。

発明家としては、アルベルト・セント-ギョルギ(ビタミンCの発見者)、ノイマン・ヤーノシュデルナ社のCOVID-19ワクチン)などが有名です。

トカイ貴腐ワインはワインの王様と言われています。料理にはパプリカがよく使われ、グヤーシュ(スープ)が有名です。



小学校から大学まで、全ての教育が無料です。医療費(複雑な手術も含む)もハンガリー国民は無料です。労働時間は通常8時間で、金曜日は4時間しかないことが多いです。仕事の後は家族で過ごし、夕食がその日の最も重要なイベントのひとつです。

オープンテラスのレストランやパブ、コーヒーショップはとても人気があります。友人とワイン、パリンカ※を飲みながら、一緒にサッカー観戦をして過ごすことが多いです。

そのほかにも、「ブダペストを散歩」として観光のポイントの紹介や、お祭りや伝統的な食べ物の話がありました。

※パリンカ・・・ハンガリー国内で造られる、果物を原料とする蒸留酒である。

英語プレゼンテーション

◆4月5日(火)

Ms. Jennifer Ricafrente

“A Glimpse on the Philippine Election 2022”



◆5月10日(火)

Ms. Claudia Gonzalez

“As a Mexican American who was born in Mexico and raised in the U.S.A.”



◆6月7日(火)

Mr. Krisjan Fourie

“Tales and Ideas from a South African”



◆8月2日(火)

Mr. Dasari Ramesh

(インド出身)
“Importance of Foreign Languages in International Relations”



* 裏表紙日本語訳 *

とやま巡り 立山室堂平に参加して

アンディ・プラコス(インドネシア出身)

立山ツアーに参加した感想を聞かれたら、「信じられないような体験の一つだった!」と答えます。窓越しに見える場所に行くことができたのは、私にとって特別なことでした。2019年富山に来て以来、行ったことがありませんでした。やはり富山県は、周りを囲む山々の美しさと切り離せませんね。真夏の雪のおかげで、立山がさらに雄大に見えます。青い空、緑の植物、白い雪が組み合わせあって、撮影した写真の隅々までが神の傑作のように見えるのです。私のお気に入りには、山と青空を映し出す池です。息をのむような美しさです。立山の美しさだけでなく、友好的な参加者と素晴らしいナチュラリストのおかげで、このツアーは私の心に残るものとなりました。通常、山の絶景を見るには何時間も歩かなければなりませんが、このツアーに参加させてくれたTCAのおかげで、1時間バスに座っているだけで立山の素晴らしい景色を無理なく堪能することができました。また一緒に素晴らしい冒険をするのが待ち遠しいです。

世界のことわざ ◆ インドネシア編 ◆

インドネシア出身のアンディ・プラコスさんに好きなことわざをお聞きしました。小学校の時に勉強した2つのことわざ

“Berat sama dipikul, ringan sama dijinjing”
大変な仕事を一緒にしたら、簡単になる。

“Berakit-rakit ke hulu, berenang-renang ke tepian”
今、大変なことを一生懸命頑張ったら、未来にはのんびりする生活を手に入れる。みなさんはいかがでしょう。



お知らせひろば

お申し込み・お問い合わせは当協会まで
TEL 076 (444) 0642 FAX 076 (444) 0643
E-mail info@tca-toyama.jp

日時	講座・イベント	定員(名)	ところ	担当委員会	会費	対象
10月8日(土) 8:30~11:00	富山市総合防災訓練参加	---	鷺坂小学校体育館	合同	無料	会員・一般 外国人
10月9日(日)	国内研修 かなざわ国際交流まつり2022に行こう	20	金沢市内	総務企画	3000円	会員
10月29日(日)	日帰り交流会 土人形絵付け体験 ほか	15	民俗民芸村	文化交流	500円	会員・外国人
11月1日(火) 18:30~20:00	英語D Presentation Mr.Daniel Boyd(米国出身) Topic:"Japan, A Foreign Perspective"	24	当センター	国際教養	会員 無料 一般 300円	会員・一般
11月5日(土) 13:30~15:00	多国言語文化交流クラス「ベトナム&ベトナム語」 講師 グエン・ティ・タオ(富山県国際交流員)	24	当センター	国際教養	会員 無料 一般 300円	会員・一般
11月13日(日)	国際交流フェスティバルウィーク2022 in Toyama 11月14日(月)16日(水)17日(木)18日(金)	---	CiCビル	合同	---	---
11月	国際交流TCAカレッジ	24	当センター	総務企画	無料	会員・一般
12月6日(火) 18:30~20:00	英語D Presentation Speaker:Ms.Alice Rees(富山県国際交流員)	24	当センター	国際教養	会員 無料 一般 300円	会員・一般
12月10日(土) 13:30~15:15	外国語ボランティア養成講座後期①	35	とやま市民交流館	---	無料	会員
12月11日(日) 13:30~15:30	ミニ門松作り	20	当センター	文化交流	未定	会員・外国人
1月14日(土) 13:30~15:15	外国語ボランティア養成講座後期②	35	とやま市民交流館	---	無料	会員
2月4日(土) 13:30~15:15	外国語ボランティア養成講座後期③	35	とやま市民交流館	---	無料	会員
2月	華道体験	20	当センター	文化交流	未定	会員・外国人
2月	私たちの活動説明会	---	当センター	合同	無料	会員・一般

※ 行事については、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp/>でご確認いただくか、協会までお問合せください。

※ 休館日(10月~3月)10月18日(火)、11月15日(火)、年末年始(12/29~1/3)、1月17日(火)、2月20日(月)、21日(火)、3月14日(火)

外国語ボランティア養成講座 後期

対象言語：英語・中国語・韓国語・ポルトガル語

日時：① 12月10日(土) 13:30~15:15
② 1月14日(土) 13:30~15:15
③ 2月4日(土) 13:30~15:15

場所：とやま市民交流館 学習室1~3
富山市国際交流センター 会議室

内容：外国人をサポートするために必要な表現や語彙、文化の違いを学びます。

対象：会員 受講料：無料

定員：35名 ※ポルトガル語・韓国語は10日前までにお申し込み下さい。

募集中です!!

文化交流委員会 日帰り交流会

日時：10月29日(土)

場所：富山市民俗民芸村

内容：土人形絵付け体験 ほか

対象：外国人、会員

会費：500円

定員：15名
(要申込み 申込順)

“勉強お助け隊”ボランティア

外国籍児童・生徒への学習日本語支援事業として“勉強お助け隊”を開催しています。

手伝っていただけるボランティアを募集しています。

毎週日曜日 10:00~11:30

編集後記

少し前、コロナのため行事の中止が相次ぎ、どのような記事で紙面を作ろうかと編集メンバーが知恵を絞って、「世界のことわざ」のような連載企画が生まれた。

ところが今号は、予想以上に行事が多かったため、用意した企画の中には掲載が次回持越しとなったものもある。であるから、そうした記事は、保存食のように賞味期限の長さを意識して執筆したいと思う。
(日下)



大伴家持いわく『立山(たちやま)に 降り置ける雪を 常夏に見れども飽かず 神(かむ)からならし』



幹が1cmに育つまで10年もかかる高山植物「チングルマ」。実は木で、綿毛は稚児(幼な子)が喜ぶ風車のような。



立山の山崎カール(山の斜面をスプーンでえぐったような氷河地形)は国の天然記念物。



三霊山の一つである、霊峰立山(峰本社：雄山)へ向かう禅定道には観音石仏(西国三十三所)あり。ここは第32番目の石仏。

If I were being asked how I felt when having a tour in Tateyama, I would say it was one of my incredible experiences! Having a chance to go to a place that could be seen through my windows was something special for me. I have been in Toyama since 2019, but I haven't been there except for that time. As I thought, Toyama Prefecture can't be separated from the beautiful of the mountains that surrounded it. The snow in the middle of summer makes Tateyama seem more magnificent! Combining the blue skies, green plants, and white snow makes every inch of the taken picture looks like a God's masterpiece. My favorite place was the pond which reflects the mountain and the blue skies. Absolutely breathtaking. Not only the beautiful of the Tateyama but also the friendly participants and fantastic tour guide make this tour memorable in my heart. Usually, we have to hike for hours to get a magnificent view of the mountains, but thanks to TCA for letting me join this tour, I only have to sit on the bus for an hour to enjoy the remarkable sight of Tateyama without any effort. I can't wait for another magnificent adventure with them again!

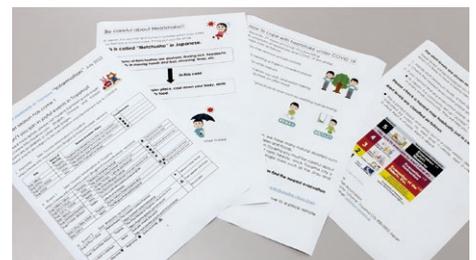
※日本語訳は6ページ参照

Andy Prakoso(インドネシア出身)

外国人向けの情報誌“雷鳥だより”を発行! 広報・組織強化委員会

最近、街中で外国人に会うことが多くなったと思いませんか?

当協会ではこれまで賛助会員に対してはTCAニュースを通して協会の活動報告をしきましたが、これからは富山に住む外国人に対しても生活に必要な情報を常時発信していかなければならないと思われます。そこで広報・組織強化委員会で市内に住む外国人向けの情報誌“雷鳥だより”を出すことにしました。(ネットでも閲覧可)7月末第一号を発行、やさしい日本語版と英語版を出しました。今後は外国人の中で人数の多い中国語版やベトナム語版も発行する予定です。できれば定期的に年4回程度の発行を考えています。



内容：P1...8月9月イベント案内 P2~4...熱中症に気をつけましょう!、自然災害のお話 水害の警戒レベル